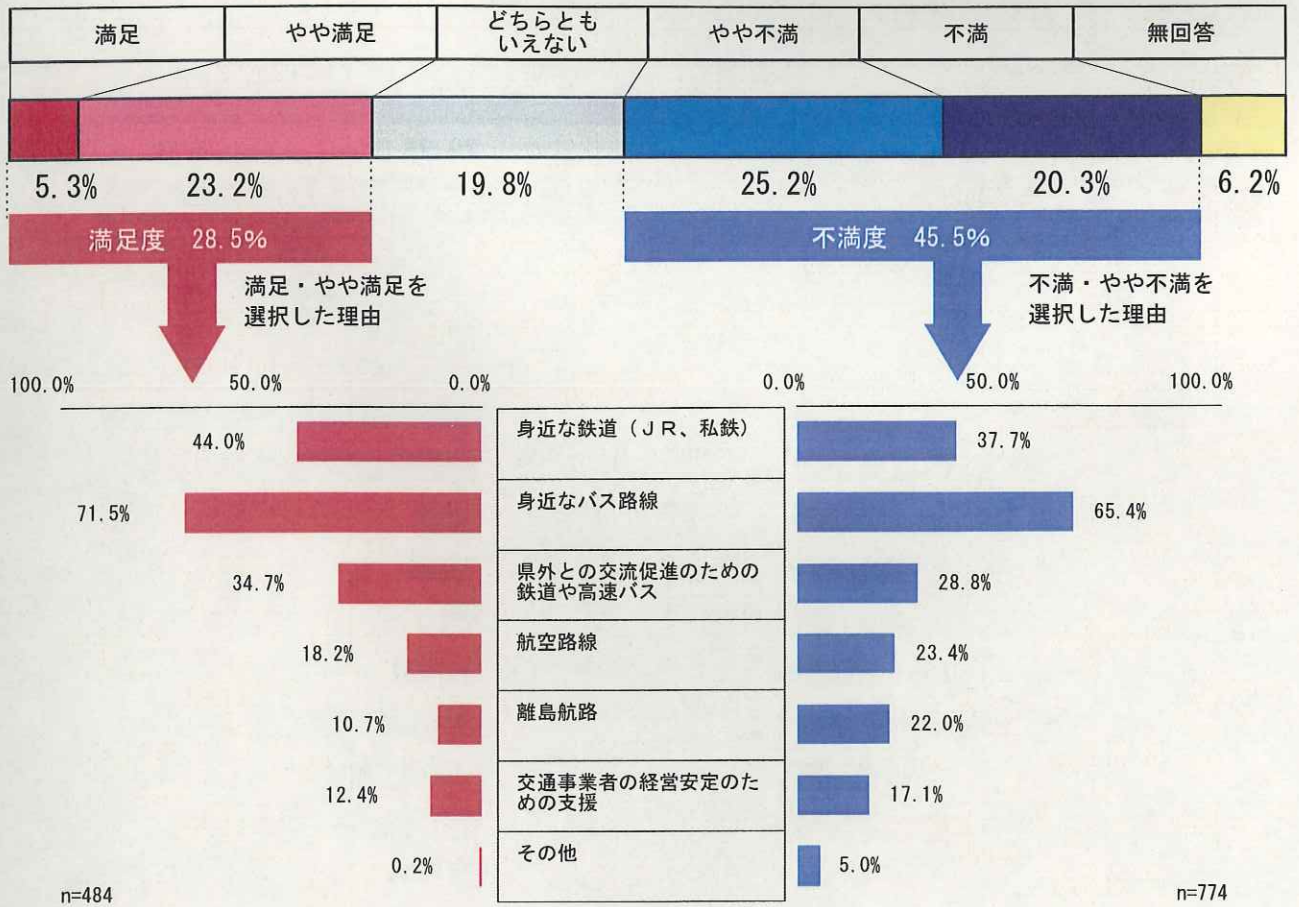


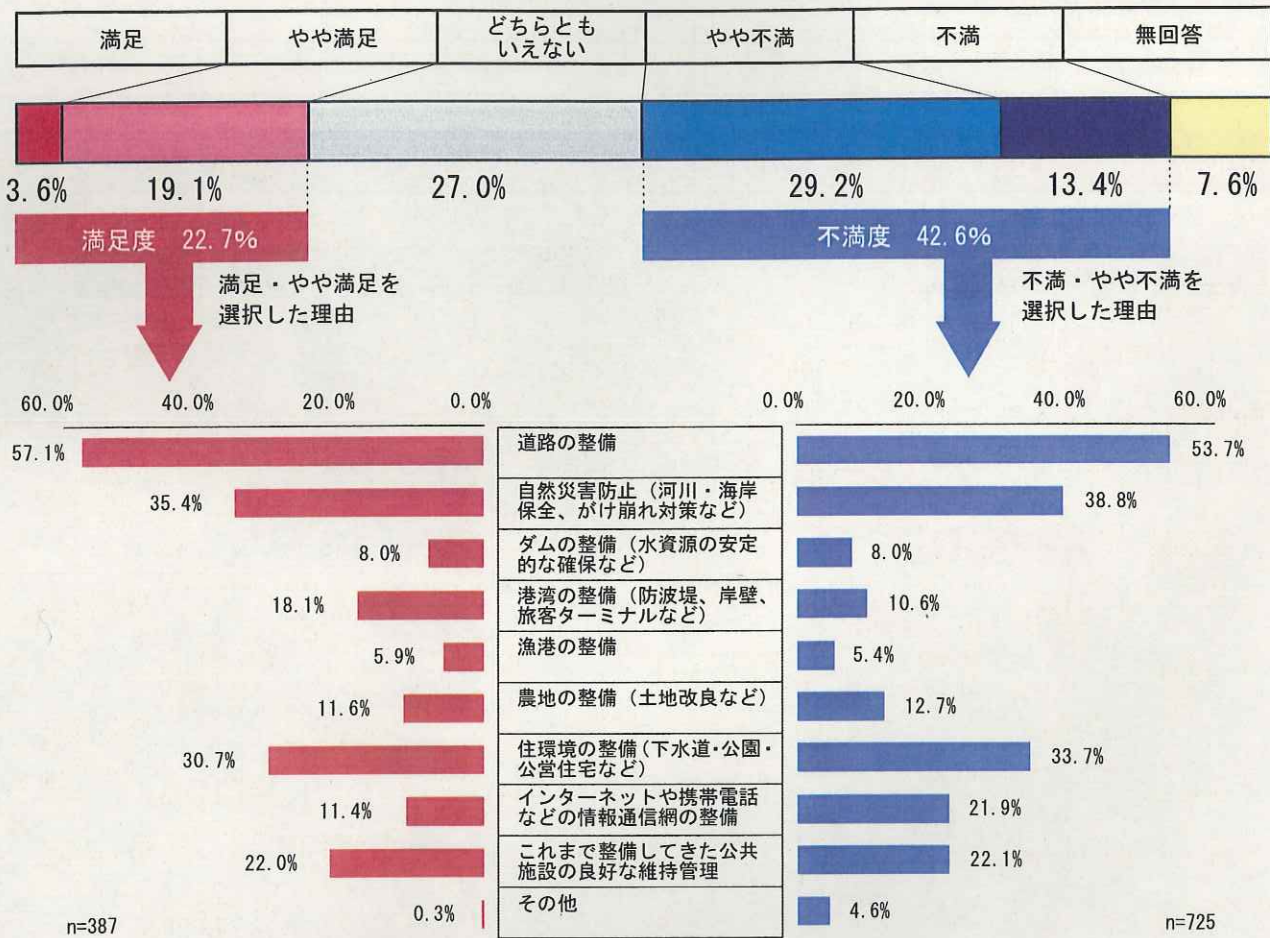
[5-20] 公共交通機関の充実



【分析結果】

- ・ 不満度 (45.5%) が満足度 (28.5%) を 17.0 ポイント上回っている。
- ・ 県南地域のみ満足度 (37.7%) が不満度 (37.5%) を上回っている。特に島原半島地域 (満足度 : 12.3%、不満度 : 62.0%)、離島地域 (満足度 : 12.4%、不満度 : 59.5%) では満足度が低く、不満度が高くなっている。
- ・ 60 歳以上の年代では、満足度と不満度がほぼ同じ割合となっているが、特に 20~40 歳代で他の年代に比べて不満度が高くなっている。
- ・ 満足度の要因をみると、「身近なバス路線」が最も多く、特に県南地域 (80.3%)、県北地域 (72.7%) で多くなっている。次いで「身近な鉄道」が続いており、特に県央地域 (59.3%)、県北地域 (51.7%) で多く、年代別では 20~30 歳代で多くなっている。
- ・ 不満度の要因をみると、「身近なバス路線」が最も多く、特に県央地域 (79.1%)、県北地域 (72.7%) が多くなっている。次いで「身近な鉄道」が続いており、島原半島地域 (61.3%)、県央地域 (51.2%) が多くなっている。

[5-21] 公共施設の整備



【分析結果】

- ・ 不満度 (42.6%) が満足度 (22.7%) を 19.9 ポイント上回っており、県北地域 (44.6%)、島原半島地域 (46.4%)、離島地域 (45.1%) の不満度がやや高くなっている。
- ・ 満足度の要因をみると、地域や性別、年代を問わず「道路の整備」が最も多く、次いで「自然災害防止」、「住環境の整備」と続いている。また、「自然災害防止」は年代が高くなるとともに増加傾向がみられ、離島地域では、「自然災害防止 (河川・海岸保全、がけ崩れ対策など)」（50.0%)、「港湾の整備 (防波堤・岸壁・旅客ターミナルなど)」（46.7%) が他の地域に比べて多い。
- ・ 不満度の要因をみると、「道路の整備」が最も多く、特に県南地域 (59.6%)、県央地域 (53.7%)、県北地域 (53.4%) が多くなっている。年代別でみると特に 20～30 歳代が多い。次いで「自然災害防止」、「住環境の整備」と続いている。また、「インターネットや携帯電話などの情報通信網の整備」は特に 20 歳代 (45.5%) が多い。

[問7] あなたは、今後、県がどのような分野に力を入れて行くべきだと思いますか？  
 (該当するもの5つまで数字に○印をつけてください。)

(重要度の高い順)



[全体]

・「雇用対策」(52.0%)が最も多く、次いで「福祉の充実」(44.1%)、「保健・医療の充実」(42.6%)となった。

[地域別]

- ・全ての地域で「雇用対策」が最も多くなった。
- ・離島地域では「将来を担う人材育成」(29.4%)、「農林水産業の振興」(28.1%)、「公共交通機関の充実」(26.8%)が他の地域より多く、島原半島地域では「農林水産業の振興」(22.3%)、「商工業の振興」(24.0%)が他の地域より多くなっている。
- ・「安全な暮らしづくり」は、離島地域(26.1%)、島原半島地域(25.7%)が他の地域より少なくなっている。

[性別]

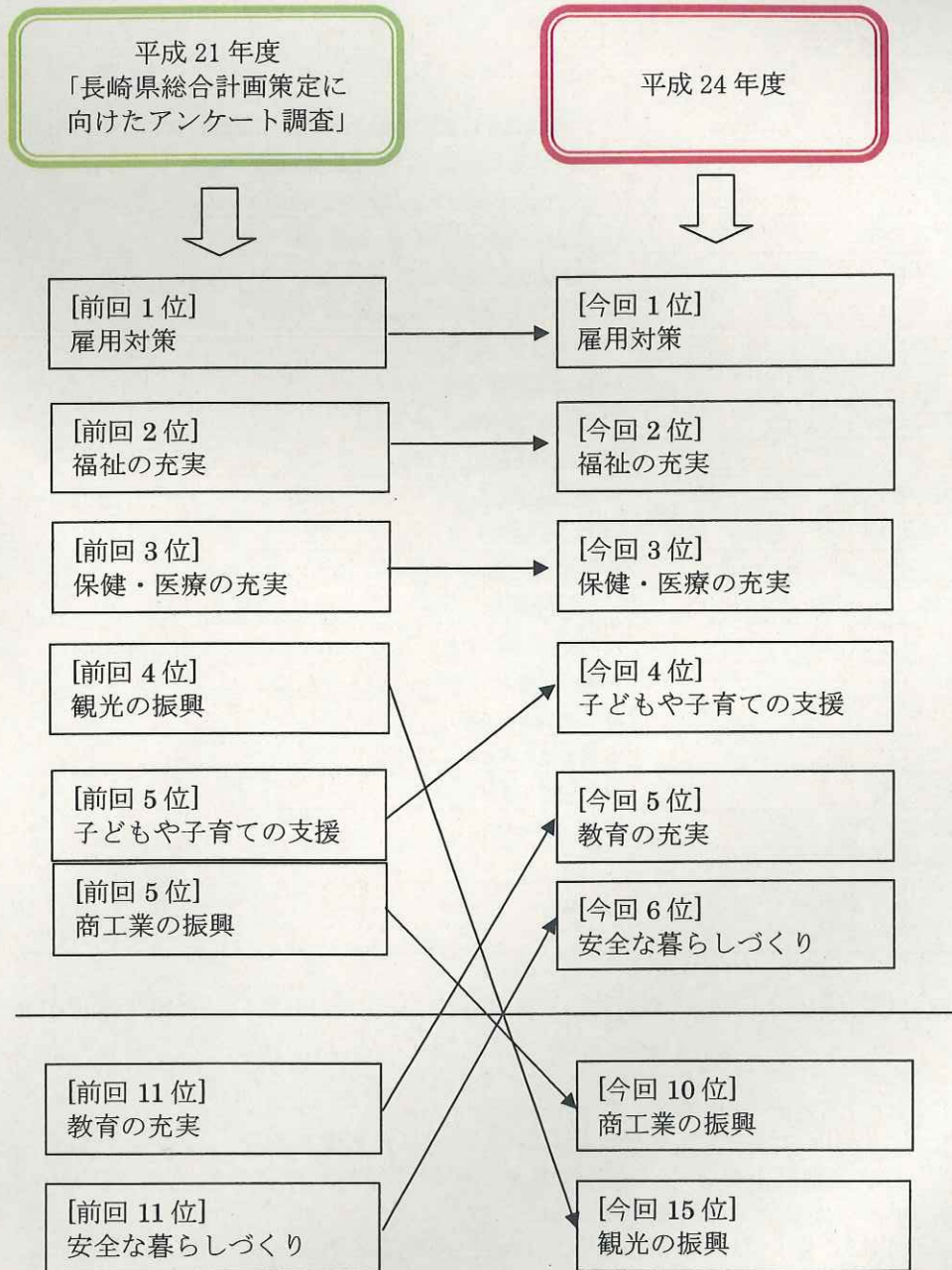
- ・男性、女性ともに「雇用対策」が最も多くなった。
- ・男性に比べて女性では、「保健・医療の充実」(男性:38.3%、女性:45.7%)、「福祉の充実」(男性:38.3%、女性:48.3%)、「安全な暮らしづくり」(男性:30.8%、女性:38.7%)が多くなっている。

[年代別]

- ・20歳代、40~60歳代では「雇用対策」が最も多くなったが、30歳代では「子どもや子育ての支援」(67.9%)が最も多く、70歳以上では「福祉の充実」(54.4%)が最も多くなっている。
- ・「福祉の充実」は、年代が上がるとともに増加傾向である。

「今後県が力を入れて行くべき分野」上位項目の前回調査との比較

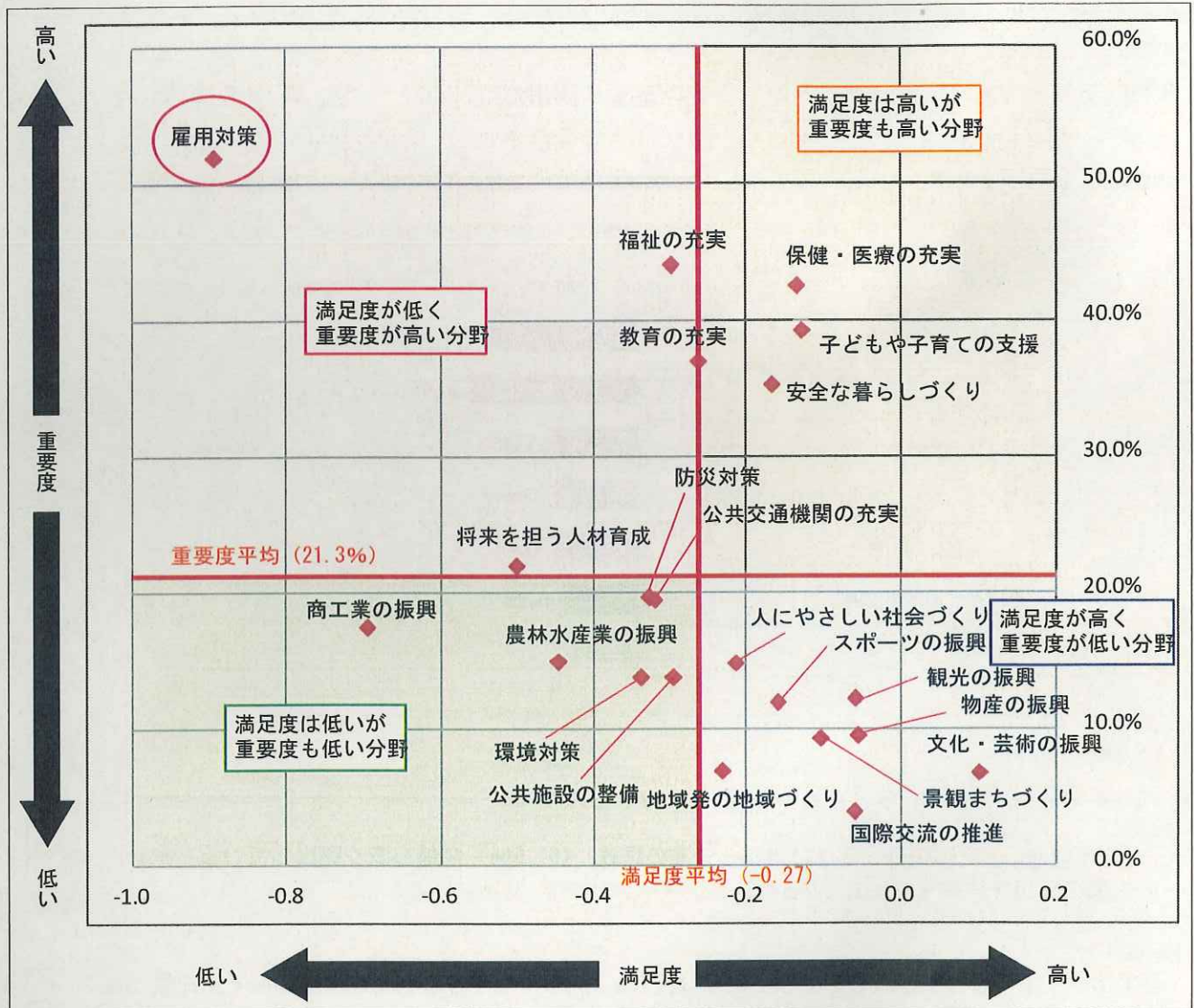
※「長崎県総合計画策定に向けたアンケート調査」（平成 21 年 6～7 月実施）との経年比較



- ◆ 「雇用対策」、「福祉の充実」、「保健・医療の充実」は前回調査に引き続き上位項目となっている。
- ◆ 「教育の充実」、「安全な暮らしづくり」は前回より大きく順位を上げた。逆に「観光の振興」、「商工業の振興」は大きく順位を下げている。

（「分野別重要度」と「満足度」の関係）

県の政策の重要度（平均：21.3%）、満足度（平均：-0.26）のそれぞれの平均点をもとに、「満足度が低く重要度が高い分野」、「満足度は高いが重要度も高い分野」、「満足度は低いが重要度も低い分野」、「満足度が高く重要度が低い分野」の4つの分野に整理した。



最重要課題分野と考えられる“満足度が低く重要度が高い分野”には、「雇用対策」などが該当する。また、“満足度は高いが重要度も高い分野”には「保健・医療の充実」、「子どもや子育ての支援」、「安全な暮らしづくり」が該当する。